

CY1S(-Z) Series パッキン交換要領

1 保守について

ピストンパッキン、ウエアリングなどの交換で分解するときはつぎのことにご注意ください。

- ① シリンダチューブより外部移動子、またはピストン移動子を取外するときは強制的に外部移動子とピストン移動子の位置関係をずらし保持力をなくした状態で取出してください。そのまま取出しますと直接マグネットが吸引しあいはずれなくなる恐れがあります。
- ② 上記の作業後、各移動子をはなれた状態でプレートA側の六角穴付ボルトおよび六角穴付止めねじ(-Zの場合)をはずすことによりシリンダチューブ、およびガイドシャフトA、BよりプレートAを外してください。(交換作業(パッキンなど)では、その他の部分は分解しないでください。エア漏れなどの原因となります。)
- ③ マグネット構成部(ピストン移動子、外部移動子)は絶対分解しないでください。保持力の低下、不具合発生の原因となります。
- ④ ピストン移動子と外部移動子は方向性(保持力タイプ、 $\phi 6$ 、 $\phi 10$)があります。図1を参照してください。外部移動子(スライドブロック)とピストン移動子を吸引させて図の位置関係になるようにシリンダチューブに挿入します。(b)のようになったときは、ピストンのみ 180° 反転して挿入します。(間違った方向で組立てると、所定の磁石保持力値が得られず、低い供給圧力でも移動子の磁力位相ずれ(ピストン離脱)が発生しますのでご注意ください。)
- ⑤ マグネット構成部を取扱うときは、腕時計を外して作業してください。強い磁気にて故障する恐れがあります。
- ⑥ マグネットは床に落したり、金属にぶつけるとこわれる恐れがありますので、マグネット構成部の取扱いには十分ご注意ください。
- ⑦ マグネットの磁力は極めて強力です。メンテナンス等で、外部移動子とピストン移動子をシリンダチューブからはずす場合は、手などをはさまないようにご注意ください。

分解後、外部移動子とピストン移動子を離して置いても、マグネットの磁力により移動子同士が共に吸着して、思わぬ大事故につながる恐れもありますので、取扱いには十分にご注意をお願いします。

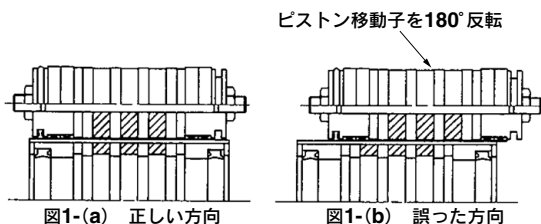


図1 移動子の方向性

- ⑧ 下図の止めねじは、ガイドシャフト固定用ですので、パッキンセット交換以外は絶対にゆるめないでください。(CY1S-Z)

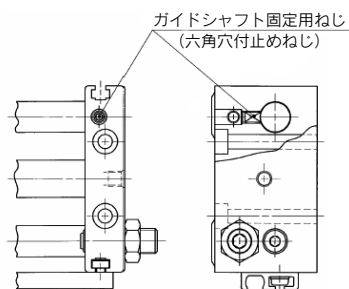


図2 ガイドシャフト固定用止めねじ

2 その他の使用上の注意事項

- ① 移動子内部には、鉄製部品が、使用されていますので水などがシリンダチューブに直接かからないようにしてください。
- ② スライドブロックの軸受部分およびシリンダチューブ外周面には、定期的にグリース塗布をしてください。
- ③ 取付け時には、接続配管を十分フランジして、シリンダ内部にゴミや切粉が入らないようにしてください。
- ④ シリンダチューブ、ガイドシャフト外周面に傷や打こんをつけないようにご注意ください。スクレーパ、ウエアリングおよびブッシュの損傷をまねき作動不良の原因となります。
- ⑤ マグネット保持力の変更(例えばCY1S25L→CY1S25H)は当社工場にて行いますので、当社営業にご相談ください。
- ⑥ シリンダ(シリンダチューブ、ガイドシャフト表面)に、水(温水)、クーラント液などがかかる雰囲気でのご使用は、別途ご相談ください。

アクチュエータ

モジュラ制御機器

圧縮空気清浄化機器

工業用フィルタ

交換要領

アクチュエータ

モジュラ制御機器

工業用フィルタ